

臨床研究に関する情報公開(研究要旨)

太田西ノ内病院では、下記の研究を実施しております。

番号	42
研究課題名	消化器内視鏡に関連する疾患、治療手技データベース構築
研究責任者 <small>(試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称)</small>	消化器内科 副院長 迎愼二
共同研究者 <small>(利用する者の範囲)</small>	今村秀道 橋本健明 間浩正
研究目的 <small>(試料・情報の利用目的及び利用方法)</small>	<p>研究で集められたデータを分析することで下記のことを明らかにすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内視鏡関連手技を行っている施設診療科の特徴 ●医療水準の評価 ●適正な消化器内視鏡医の配置、ならびに消化器内視鏡技師、看護師などのコメディカルの適正な配置 ●早期癌登録する精確な情報収集 ●内視鏡検査、治療を受けた方の予後 ●内視鏡検査・治療の医療経済的な情報収集 ●これから内視鏡関連手技を受ける方の死亡・合併症の危険性など
他の研究機関への情報提供の有無、及び提供方法	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
研究実施期間	2020/04/01～2025/03/31
研究対象者及び対象期間	2020年4月より2025年3月まで当院において内視鏡検査・治療を受けた症例
利用する情報 <small>(利用し、または提供する試料・情報の項目)</small>	<p>検査日、年齢、性別、ASA Grade、抗血栓薬（使用状況ならびに中止、置換の有無などの詳細）、喫煙歴ならびに喫煙の有無、飲酒歴および飲酒状況、悪性腫瘍家族歴、他臓器癌既往歴、ヘリコバクター・ピロリ感染状態、内視鏡検査の予定性、外来・入院、検査目的、治療目的、鎮痙剤使用状況、鎮静剤痛、麻酔に関する事項、内視鏡の挿入経路、使用スコープ情報、送気の種類、特殊観察法、観察範囲、手技開始・終了時間、手技中・手技後偶発、30日以内の死亡の有無、実施医師名、副実施医師名、内視鏡看護師・技師名、腹部手術歴、生涯大腸内視鏡歴、造影範囲、挿管、胆管・膵管径、ERCP難度、胆管へのアプローチ方法、萎縮度など</p>
研究の資金源 <small>(利益相反)</small>	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
備考	